

平成
26
年度

個数包装機導入による生産性向上に伴う 生産量増大及び販路拡大

企 業
データ

有限会社ケンコーフーズ

■所在地:〒901-0306 沖縄県糸満市西崎町5-5-11 ■代表者:代表取締役 大城 健功
 ■TEL:098-994-8828 ■FAX:098-994-8892 ■URL:http://www.kenko-foods.jp/
 ■設立年:昭和63年 ■資本金:500万円 ■従業員数:22人 ■業種:食料品製造業



代表取締役 大城 健功

経緯

創業35年を迎える当社は、豆菓子を中心とする沖縄の素材を生かした昔ながらの素朴な菓子や、おつまみ・珍味などの製造販売を手掛ける菓子メーカーであり、現在、自社商品・OEM・PBを含め約30種の商品の製造販売を行っている。当社のモットーは「ケンコーフーズの商品を手にしたすべての人が笑顔になること」であり、そのために必要な衛生管理と品質管理に関しては日頃から大きな力を注いできた。近年は、観光客の増加や沖縄菓子の人気に伴い大口の商談が増えてはきたものの、手仕事での包装に時間がかかり過ぎて発注から納品に至るまでのリードタイムが長くなるなどの課題が生じ、せっかく話をいただいても中には断念せざるを得ない企画も出始めていた。特に何万個分も手詰めをしていたサーターアンダギーは人員も機械詰めの5倍を要し時間も費用もかかっていたため、本事業を活用し個数包装ができる大型機器の導入に踏み切った。

事業内容

今回導入した個数包装機は自動計量機能も備えており、個々のサーターアンダギーの重量に応じて個体を選別し適性の内容量で包装でき、スピーディーかつ高精度に安定した計量を実現できた。エージレス(脱酸素剤)の自動投入も可能で作業効率が飛躍的に改善。豆菓子は約2倍、サーターアンダギーは約3～4倍作業効率がUPした。



導入した個数包装機

成果

包装が数倍早くなったことからリードタイムが短縮され、また商品に触れる時間や人員が少なくて済むことから衛生面もより一層向上、さらには同作業に関わるスタッフの人員削減にも繋がった。こうした側面からみてもさまざまなメリットがあり、今回の新機材導入は非常に有益だったと言えるだろう。そして何より、納期の短縮により今まで断らざるを得なかった大口企画の受け入れが可能となったことが新機材導入の最大のメリットである。これは沖縄菓子製造会社としての新たな強みとなり、今後の販路開拓や県内外からの大量注文の受注に繋がっていくものと確信している。

今後の展望

包装作業を離れたスタッフが商品開発を手掛けることが可能となったことから、より魅力的な新商品を作り出し、多様化する沖縄観光の土産需要にも細やかに対応していきたいと考えている。さらに今後は沖縄県の地理的条件を生かし東南アジアを中心とした海外輸出も計画。伝統継承と創造を胸に、沖縄ブランドとして世界中に沖縄の「おいしい」と「笑顔」を届けていきたい。

自社商品の
「黒糖サーターアンダギー」